



『読む・直す・仕上げる』
契約審査をカンタンに

GVA assist

ジーヴァ アシスト

のご紹介

ひな型をダウンロードする

リスク単語 推奨条文

【チェックポイント】

- 検査基準：
委託者指定の検査基準にしてください（譲歩の余地あり）
- 不合格通知：
詳細な理由の付記や根拠資料の添付等、不合格通知の手続きが煩雑になる規定は受け入れないようにしてください（譲歩の余地あり）

【チェックポイント】

1. 委託者は、成果物の納入を受けた後又は業務完了報告書を受領した後●●日以内（以下「検査期間」という。）に、自己の定める検査基準に従い検査を行うものとし、検査に合格したときは、委託者に対して書面により（電磁的方法による場合を含む。）検査合格の通知を行い、これをもって検査完了とする。

ブロック全体

不足条文 **5**

リスク単語/条文 3
不足単語 2

自社 (適用関係)

秘密情報が複製された場合、当該複製物たる情報も当然秘密情報に該当する。そこで、秘密情報が複製されることも想定し、その複製された情報も秘密情報の対象とすることを確認した条文である。

ひな型

(開示者) 秘密保持契約書 (NDA)

リスク単語 損害賠償

開示者及び受領者は、本契約に関連して、自己の責めに帰すべき事由により相手方に損害が生じたときは、相手方に対し、当該損害を賠償しなければならない。

リスク単語 逸失利益 **リスク単語 特別損害**

形式チェック

及び **2個**

および **6個**

オプション条文

【検査基準】
各種事項に関し協議の上定めた検査基準

【不合格通知】
理由の付記をした上、遅滞なく通知を行う

【不合格後の措置】
協議の上定めた期間内に無償での修補・代替品納入

契約書審査（レビュー）業務、負担が大きくありませんか？

リスクのある条文は
どれ？

文字しかない書面を
ひたすら読むの、辛
い…

どう直すべきなんだ
ろう？

ああ書きたい、でも
どんな文言だっけ？

リスクに漏れがない
かももう一度確認しな
いと…

あ、表記ゆれ。他に
もあるかも…

1日中白黒の条文を
読み続けてしんどい
…



何か見落としてない
かな…



GVA assist

で解決できます



GVA assist (ジーヴァ アシスト) とは

契約審査の「読む」「直す」「仕上げる」負担を解消する AI契約審査クラウドです



リスクの発見を
助ける



適した修正例が
見つかる



単純作業から
開放される

的確な契約審査
&
安心の契約締結



GVA assist



一般社団法人 ASP・SaaS・AI・IoTクラウド産業協会主催
「ASPIC IoT・AI・クラウドアワード 2021」において、
AI部門 審査委員会賞に選出いただきました。
(旧名称：AI-CON Proでの受賞)

導入実績 (2021年11月時点)

現在 **300** 超の企業・法律事務所にご導入いただいております。

< 企業 (一部) >

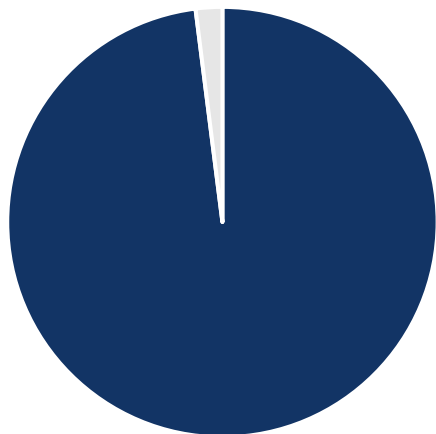


< 法律事務所 (一部) >

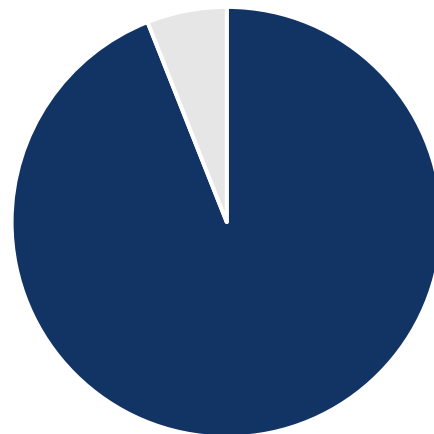


GVA assist のご利用者様が感じている導入効果

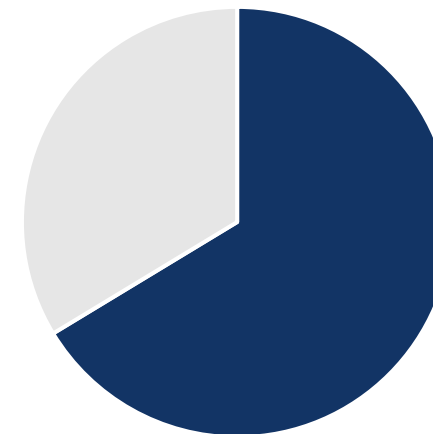
GVA assist ご導入後の、契約審査業務・審査後の締結契約について



98%の方が
負担の軽減
を実感



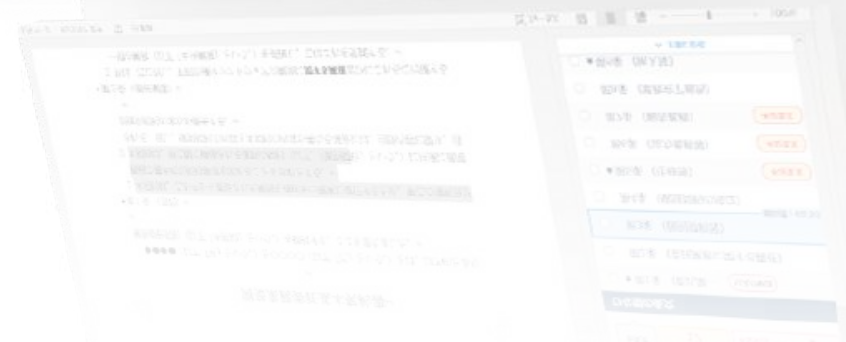
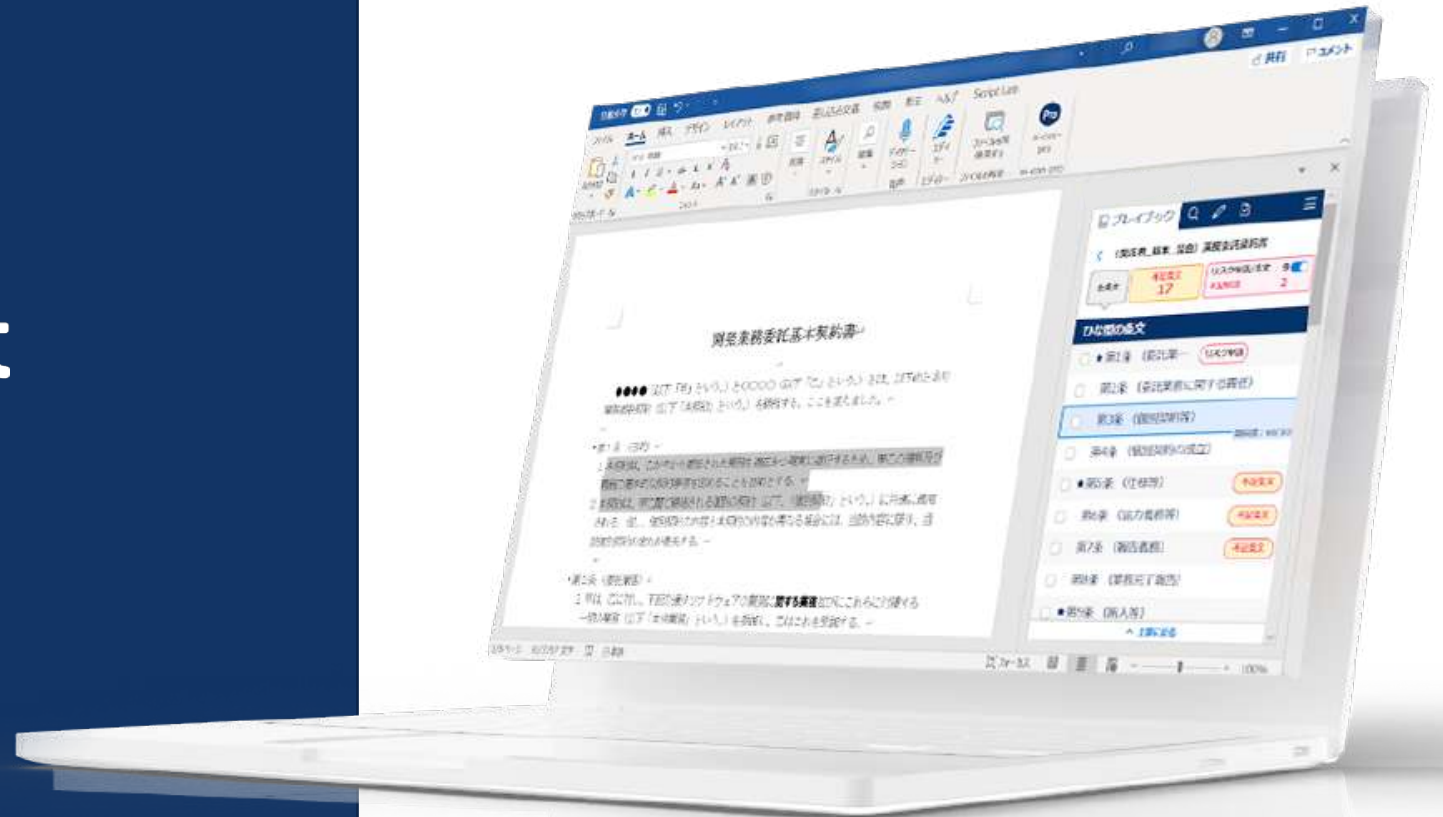
94%の方が
不安の解消
を実感



67%の方が
平等または好ましい条件
での契約締結が増えた
ことを実感

GVA assist

機能概要とメリット



契約審査プロセスにおいて負担を感じている点

読む		直す		仕上げる		ゼロから作る	
契約内容の理解	修正点の把握	修正方針の検討	修正文案の作成	書面の形式的な点検	書面の形式的な修正	契約書のひな型を探す	ひな型を追記修正する

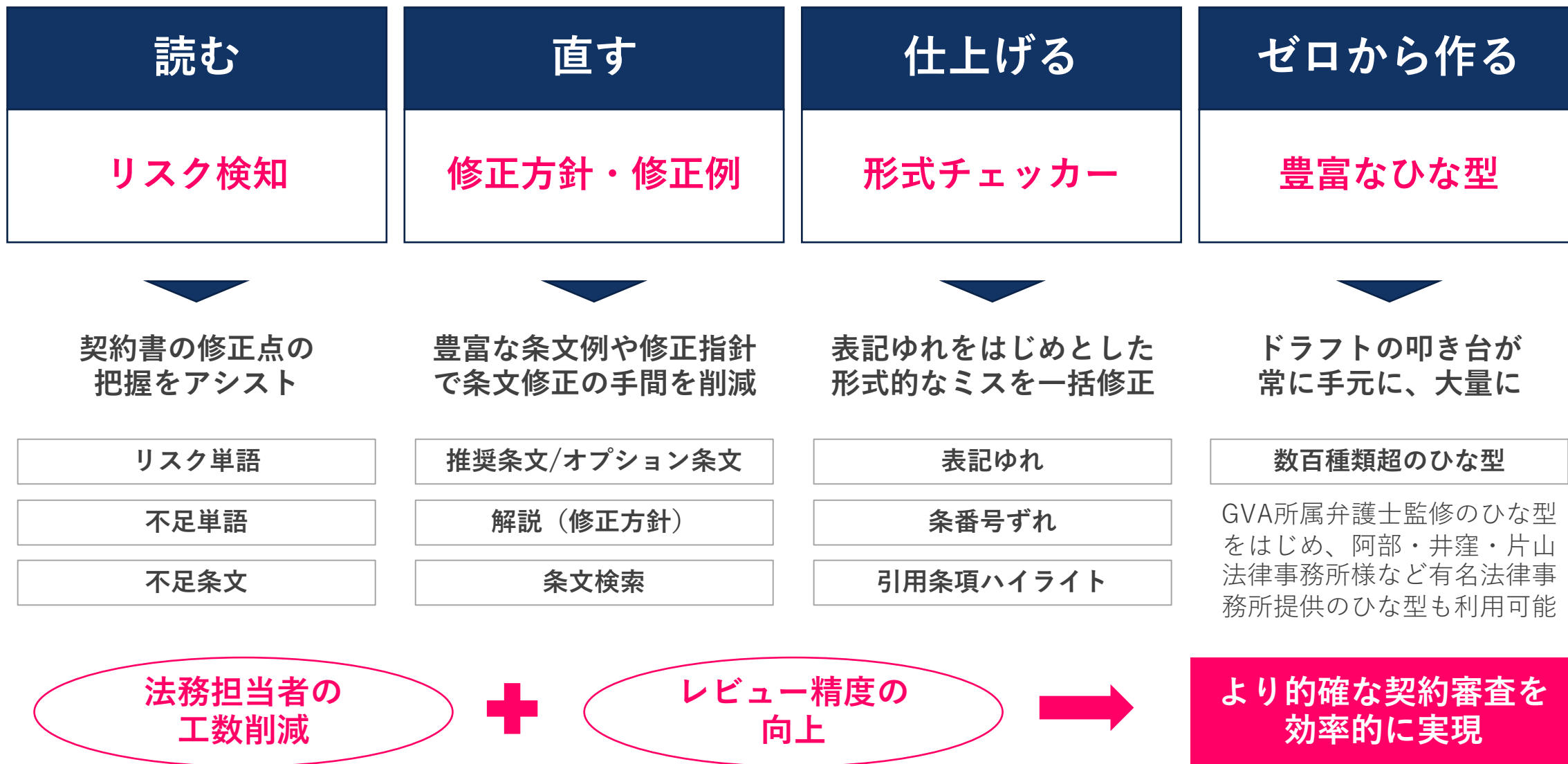
企業法務担当者が負担を感じる業務



弁護士が負担を感じる業務



GVA assist で、契約審査のプロセス毎の負担を解消



リスク検知（リスク単語/不足単語/不足条文）

契約書を
読む

契約書を
直す

契約書を
仕上げる

契約書を
ゼロから作る

3つの観点で契約書のリスクを検知。
注意して検討すべきポイントが明確に。



集中力のムラによる見落としを防ぎ、
担当者間のレビュー精度を平準化。

契約書レビュー 使い方 ヘルプ

自社にとってリスクとなる条文や、ひな型と比較して不足している条文を表示しています。条文タイトルの左にある★マークは、重要条文であることを示しています。

秘密保持契約書

GVA TECH株式会社（以下「甲」という。）とGVA法律事務所（以下「乙」という。）は、下記のとおり秘密保持契約（以下「本契約」という。）を締結する。

第1条（目的）

開示者は受領者に対して、甲が運営する契約審査補助ツール「AI-CON Pro」に関する協業の検討を目的（以下「本目的」と言う。）として、秘密情報を開示する。

第2条（秘密情報の定義）

1 本契約において秘密情報とは、開示者が有する営業上又は技術上の情報及び本目的遂行過程で **知り得た情報** をいう。
2 前項にかかわらず、以下の各号に該当する情報は秘密情報に含まれないものとする。ただし個人情報についてはこの限りではない。
(1) 開示者から開示される以前から受領者が保有していたもの
(2) 受領者が正当な権限を有する第三者から、秘密保持義務を負わずに知得したもの
(3) 受領者が、開示者から開示された秘密情報によることなく、独自に開発したもの

第3条（秘密保持義務）

1 受領者は、開示者の事前の書面による承諾なく、秘密情報を第三者に開示または漏洩してはならない。
2 受領者は、次の各号のいずれかに該当する場合、開示者の承諾なく秘密情報を開示することができるものとする。

（相互開示）秘密保持契約書（NDA）

プレビュー全体 **不足条文 6** リスク単語/条文 3
不足単語 2

ひな型の条文

- 第1条（契約の目的） **不足条文**
- 第2条（開示目的）
- ★第3条（秘密情報の定義） **リスク単語** **不足単語**
- ★第4条（秘密保持義務） **リスク単語** **不足単語**
- ★第5条（目的外使用の禁止）
- 第6条（個人情報の取扱い） **不足条文**
- ★第7条（複製等） **不足条文**
- ★第8条（解析の禁止）
- ★第9条（秘密情報の管理）

[↑ 上部に戻る](#)

修正方針と修正例の提示

契約書を
読む

契約書を
直す

契約書を
仕上げる

契約書を
ゼロから作る

具体的な修正例や修正方針を条文単位で複数パターンを提示。



相手との力関係や取引事情に応じて、現実的な修正・交渉ができます。

The screenshot displays a contract review interface with three panels illustrating different ways to modify Article 30 (Indemnification):

- Left Panel (Original):** Article 30 (不可抗力による免責) - Indemnification. The original text states that the indemnifier is not liable for damages caused by natural disasters, wars, etc.
- Middle Panel (Modification 1):** Article 30 (損害賠償) - Indemnification. It adds a "Checkpoints" section: "Main conditions: Cause and loss must be confirmed (no step-by-step). Scope: Damages up to professional fees and lost profits." It also adds a "Limitation of indemnification" section: "Limitation: 'Direct and ordinary damages' (●● is the upper limit). 'Request for damages' is... from ●● years is not possible." A "Risk Point" label is present.
- Right Panel (Modification 2):** Article 30 (損害賠償) - Indemnification. It adds a "Scope of indemnification" section: "Scope: Damages in the causal relationship." It also adds a "Limitation of indemnification" section: "Limitation: 'Direct and ordinary damages' (●● is the upper limit). 'Request for damages' is... from ●● years is not possible." A "Risk Point" label is present.

膨大な条文データベースからお目当ての条文を横断的に検索できます。



正確に表現しづらい条文を考えたり、条文例を見つける時間が短縮されます。

使用することができるものとし、委託者の事業所に立ち入って委託業務を行う場合は、委託者における秩序維持、防犯、情報管理及び施設管理のため、委託者の内部規程、社内ルール、その他諸規則を遵守しなければならない。

第21条 (知的財産権等の取扱い)

1. 委託業務遂行の過程において生じた発明その他の知的財産又はノウハウ等にかかる知的財産権（特許権、実用新案権、商標権、意匠権、著作権その他の知的財産権（それらの権利を取得し、又はそれらの権利につき登録等を出願する権利を含む。）をいい、以下、これらの権利を総称して「知的財産権等」という。）は、すべて委託者に**帰属**するものとする。
2. 受託者は、委託業務遂行の過程において知的財産権等が発生した場合、委託者にこれを通知しなければならない。

第22条 (第三者の権利の利用等)

1. 受託者は、委託業務に際して第三者の権利等を利用する場合は、事前に委託者の承諾を得た上で、受託者の**費用**により利用するものとする。
2. 受託者は、成果物に第三者の権利を利用し又は含まれていた場合、受託者の**費用**と**責任**により、成果物にかかる権利の全てを委託者に帰属させ、又は委託者が自由に成果物を利用するために必要な一切の措置をとらなければならない。
3. 受託者が前項の措置をとりえない場合、受託者は委託者に対し、受領した委託料を返還するものとする。

検索結果: 知的財産権 (274件)

AI-CON (知的財産権等)

受託者は、秘密情報に基づき発明、考案、意匠の創作等の成果が生じた場合の当該成果に関する**知的財産権**（特許権、実用新案権、商標権、意匠権、著作権（著作権法第27条、第28条の権利を含む。）その他の**知的財産権**（それらの権利を取得し、又はそれらの権利につき登録等を出願する権利を含む。）をいう）の帰属、取扱い等については、**開示者と協議の上**で決定するものとする。

【チェックポイント】

解読

閉じる

AI-CON (知的財産権等)

受託者は、秘密情報に基づき発明、考案、意匠の創作等の成果が生じた場合の当該成果に関する**知的財産権**（特許権、実用新案権、商標権、意匠権、著作権（著作権法第27条、第28条の権利を含む。）その他の**知的財産権**（それらの権利を取得し、又はそれらの権利につき登録等を出願する権利を含む。）をいう）の帰属、取扱い等については、**開示者と協議の上**で決定するものとする。

続きを見る

AI-CON (契約書) 秘密保持契約書 (NDA)

形式チェック（表記揺れ、条番号ずれ、引用条項）

契約書を
読む

契約書を
直す

契約書を
仕上げる

契約書を
ゼロから作る

ケアレスミスが発見や修正をシステム
が代わりに行います。



人間がやらなくてもよさそうな
「作業」から解放されます。

The screenshot shows a Microsoft Word document with a DocuSign interface overlay. The DocuSign interface includes a '形式チェック' (Form Check) panel on the right side. This panel lists various items to be checked, such as '番号ずれ' (Number mismatch), '表記揺れ' (Spelling variation), and '条番号ずれ' (Article number mismatch). Each item has a checkbox, a search icon, and a 'OFF' button. The main document content is partially visible, showing a list of items and a section titled '第9条 (契約不適合責任)' (Article 9: Contract Non-compliance Liability). The text in the document is as follows:

ることができ、その場合の条件（貨料、支払時期、返還期限等）については、別途
甲乙協議の上定める。←

7. 乙は、支給品及び貸与品について、善良なる管理者の注意をもって管理、使用しな
なければならない。←

第9条 (契約不適合責任) ←

1. 商品に第4条第1項に定める検査では発見できない不適合（数量不足を除く。以
下本条において同じ）があったときは、納品後6か月以内に甲が不適合を発見し、
乙に対し、○営業日以内に具体的な不適合の内容を示して通知し、その後、同条第
2項に定める履行の追完を催告した場合に限り、乙は、甲の選択に従い、同条第2
項に定める履行の追完をする。←

2. 前項の履行の追完を催告したにもかかわらず、甲が定めた期間内に乙が履行の追
完をしないときは、甲は乙に対し、不適合に応じた商品の代金の減額を請求するこ
とができる。←

3. 本条の規定は、甲による損害賠償の請求を妨げない。←

第10条 (製造物責任) ←

1. 商品の欠陥に起因して、第三者の生命、身体又は財産に損害が生じたときは、甲及
び乙はその対応につき協議する。←

ドラフト作成（契約書ひな型ダウンロード）

契約書を
読む

契約書を
直す

契約書を
仕上げる

契約書を
ゼロから作る

豊富な契約書ひな型を搭載。ダウンロード回数に制限なし。



手元にひな型がない種類のドラフト作成時間が劇的に短くなります。

ひな型ダウンロード

使い方 ヘルプ

タイトル検索 条件検索

特許

30件のプレビューが見つかりました

すべて 自社 AI-CON

- 民法改正チェック_ライセンス契約書 (特許・ソフトウェア) AI-CON 申請
- (ライセンス) 特許専用実施権設定契約書 AI-CON ライセンサー
- (ライセンス) 特許専用実施権設定契約書 AI-CON ライセンサー
- (ライセンス_非独占) 特許通常実施権許諾契約書 AI-CON ライセンサー
- (ライセンス_非独占) 特許通常実施権許諾契約書 AI-CON ライセンサー
- 【解説なし】特許実施権契約書_岡部・井窪・片山法律事務所編『契約書作成の実務と書式...』 AI-CON 指定なし
- 秘密保持契約書 (NDA) (AI_経産省&特許庁モデル) AI-CON 指定なし
- 技術検証 (PoC) 契約書 (AI_経産省&特許庁モデル) AI-CON 指定なし

(ライセンス) 特許専用実施権設定契約書

概要

株式会社●●（以下「ライセンス」という。）と【自社】（以下「ライセンス」という。）とは、以下のとおり特許専用実施権設定契約（以下「本契約」という。）を締結する。

(定義)

本契約において、次の各号に掲げる用語の意義は、当該各号に定めるところによるものとする。

- 「本件特許権」
ライセンスが保有する特許第●●号、発明の名称「●●」の特許権をいうものとする。
- 「本件特許」
本件特許権で特許される特許をいうものとする。
- 「本件特許発明」
本件特許権の特許請求の範囲に記載された特許発明をいうものとする。
- 「本件製品」
本件特許発明を実施して製造される製品等をいうものとする。
- 「対象地域」
●●/日本国内をいう。

(実施許諾)

- ライセンスは、ライセンスに対し、本契約の期間中、本件特許権について、次項に定める範囲内で専用実施権を許諾する（以下「本件専用実施権」という。）。
- ライセンスは、本件専用実施権に基づき、対象地域において、本件製品の製造、販売及び輸出を行うことができ

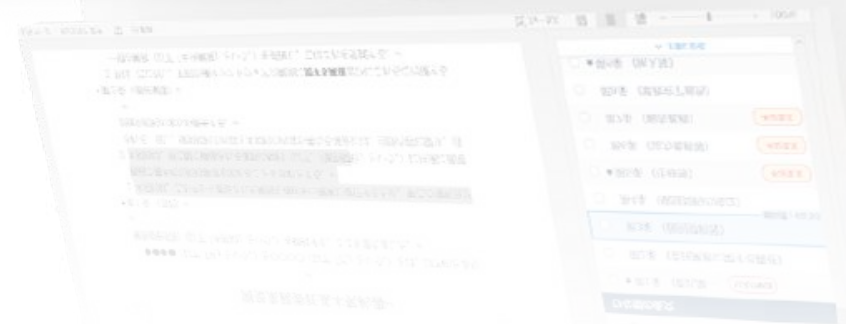
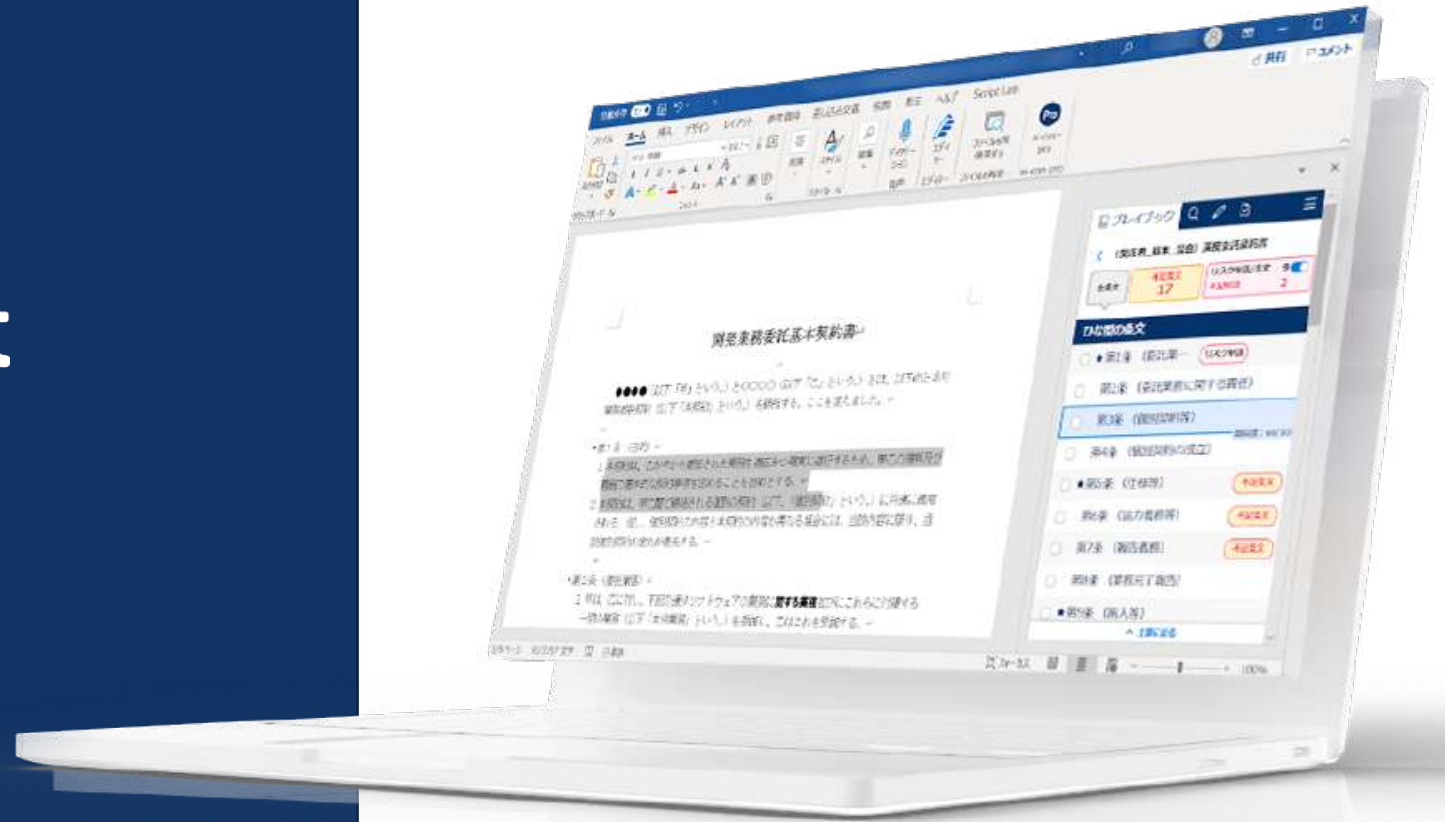
ダウンロードする

GVA assist 主要機能一覧

審査時の負担	GVA assistの機能	機能の概要	ご利用者様にとっての価値
読む負担	リスク検知（リスク単語/不足単語/不足条文）	GVA assistにある契約書ナレッジをもとに、審査対象の契約書に記載されている・記載されていないリスクを検知します。 リスク単語：○○と記載されていることがリスク 不足単語：条文内に記載されていないことがリスク 不足条文：条文自体が存在しないことがリスク	審査担当者は抜け漏れを気にせず、リスクの内容検討・受け入れ判断に集中できます。
直す負担	推奨条文	チェックポイントの推奨内容を踏まえた条文例を参照できます。	当該条文を修正する際の最適な条文をすぐに参照できます。
	オプション条文	譲歩する際や別パターンを提示する際の条文例を参照できます。	契約内容の検討・判断のための材料が豊富にあるので、色々探し回ることなく思考に集中できます。
	解説（審査方針）	チェックポイントに記載された着眼点について、どの程度譲歩できるか等を参照できます。また、条文の根拠や背景となる法令やガイドラインなども記載しています。 ※URLをクリックすることでガイドラインをウェブで参照できます。	契約内容の検討・判断のための材料が豊富にあるので、色々探し回ることなく思考に集中できます。また、参照が必要な公的情報にすぐにアクセスできます。
	条文検索	GVA assistにセットしている数百の契約書ナレッジや、自分でセットした自社の契約書ナレッジを横断的に検索できます。 検討・修正したい内容に沿った文言を探したり、特定の文言を使用している条文を探し出し、参照できます。	検討・修正時の参考条文を参照できます
仕上げる負担	表記ゆれ修正	「及び」「および」や「又は」「または」といった、契約書によくある表記揺れを検知し、ワンクリックで表記を統一できます。	人間がやらなくても良い「作業」を代行します
	条番号ずれ修正	開いたWordファイルの「第○条」を読み取り、自動で連番に整えます。	人間がやらなくても良い「作業」を代行します
	引用条項ハイライト	条項の追加・削除をした際、引用している条項のズレがないかを確認しやすくするため、引用条項がある部分をマーカー表示します。	細かい「作業」をアシストします
ゼロイチの負担	ドラフト	GVA assistが用意している契約書ひな型を書き出す（ダウンロードする）ことができます。立場別にご用意していたり、業界標準ひな型なども多数搭載しています。	書籍を“写経”したり、ネット上の内容が定かではないひな型を手したりせず、弁護士が監修した契約書ひな型を使える

GVA assist

- ・ 契約ノウハウ
- ・ 導入事例
- ・ セキュリティ
- ・ ご提供プラン
- ・ 会社概要



GVA assistに搭載されている、弁護士監修の契約ノウハウ

有斐閣「契約書作成の実務と書式（第二版）」で有名な**阿部・井窪・片山法律事務所**をはじめ、知的財産権に強い**メリットパートナーズ法律事務所**、国際仲裁・調停制度に精通した**霞ヶ関国際法律事務所**といった、各分野に強い法律事務所様とアライアンスを締結し、GVA assistを通じて契約書ナレッジをお届けします。他にも、**官公庁や業界団体が提供している業界標準の契約書ひな型も搭載**しています。

レビューに使える
契約書ナレッジ

243 種類

GVA TECH MERITO



阿部・井窪・片山法律事務所



霞ヶ関国際法律事務所
Kasumigaseki International Law Office
国際仲裁 Chambers



ドラフトに使える
契約書ひな型

429 種類

GVA TECH MERITO



阿部・井窪・片山法律事務所

業界標準モデル契約書（経済産業省・厚生労働省・国土交通省・特許庁・中小企業庁・情報処理推進機構（IPA）・一般社団法人日本ディープレニング協会）

条文単位でノウハウを貯めていきたい方へ（条文ストック機能）

契約審査中に、「よくできている」相手型ひな型の条文を、クラウド上に「ストック（保存）」しておくことができます。ストックした条文は、条文検索を通じて活用できます。

The screenshot displays a contract review interface. On the left, a sidebar lists articles: Article 12 (Damages), Article 13 (Prohibition of Transfer of Rights and Obligations), Article 14 (Prohibition of Similar Checks and Transactions), and Article 15 (Force Majeure). Article 12 is highlighted with a 'Risk Statement' icon. The main area shows Article 13, with tabs for 'Recommendation', 'Option Article (5)', and 'Explanation'. A modal titled 'Add Option Article' is open, showing a text input field for the option article content and a 'Save' button. The modal also includes a 'Required' section for the article content and a 'Optional' section for the explanation.

導入事例 (ロゴをクリックすると事例詳細ページに遷移します)

上場企業



東急不動産

カネカ株式会社

その常識、変えてみせる。

SHIFT

Link-U



スタートアップ 大手企業



YAZAKI

SNM 新日本造機株式会社



anbox

法律事務所 (6名以上)



鳥飼総合法律事務所



NEXPERT Law Office



長瀬総合法律事務所
NAGASE General Law Office



弁護士法人
PLAZA総合法律事務所
PLAZA LAW OFFICE



弁護士法人
一新総合法律事務所 東京事務所
ISSHIN PARTNERS
東京法律事務所



弁護士法人ラグーン
Lagoon Law Office



桜丘法律事務所
Sakuragaoka Law Office

法律事務所 (5名以下)



FUJII & TAKIZAWA
藤井・滝沢総合法律事務所



石井|高畑 法律事務所
ISHII & TAKAHATA law office

白土文也法律事務所
BUNYA SHIRATO LAW OFFICE



弁護士法人
えそら



GVA assistのセキュリティ

GVA assistで審査する契約書は 弊社AIの学習などへの二次利用は 一切いたしません

企業にとって契約書は「契約先の企業名」「契約内容」「金額」等が記載されている**機密情報**です。その、機密情報を守るために、GVA assistでは、審査対象の契約書を保存したり、**AIの学習に利用することは一切行っておりません。**したがって、第三者開示にはならず、対象契約書の匿名化処理をすることもなく、ご利用いただけます。

その他にも様々なセキュリティ対策を講じ、お客様の契約書データを保護いたします。

ISMS 認証 (ISO27001)

弊社が策定・運用する情報セキュリティマネジメントシステム (Information Security Management System) について、国際標準と同等の「ISMS 認証基準」に準拠している旨の認証を取得しています。

第三者脆弱性診断

信頼性の高い第三者による脆弱性診断をクリアしています。

ソースIP制限

送信元の IP アドレスによってアクセス制限をかける機能です。貴社が用いる IP アドレスからのアクセスに限定することにより、セキュリティが向上します。

IPS / IDS

不正侵入防止システム (Intrusion Prevention System) と不正侵入検知システム (Intrusion Detection System) を完備しています。異常な通信を検知、遮断することで外部からの不正なアクセスを防ぎます。

AWS

弊社が用いる AWS (Amazon Web Services) クラウドは、世界中のさまざまなセキュリティ標準や規制をクリアすることができる認証を取得し、運用されています。

MFA (多要素認証)

MFA (Multi-Factor Authentication) を採用しています。ユーザー名、パスワードの要求に加えて、携帯用アプリケーションを用いる方法により、認証に関するセキュリティをさらに高めています。

データの秘匿ポリシー

審査対象となる契約書の Word ファイルをサーバー上に残さないポリシーで運用しております。
※Wordアドインでご利用頂く場合

プランについて

法務の業務を兼務している管理部門の方
一人・少数法務担当者様
弁護士の方

ライトプラン

GVA assistにプリセットされた、
弁護士が監修した標準的な基準で審査

※審査件数に制限はありません。

自社の契約ルールが明確な企業法務
事務所全体でノウハウを共有したい弁護士の方

エンタープライズプラン

GVA assistにプリセットされた
弁護士が監修した標準的な基準で審査

自社のひな型やノウハウに基づく
自社基準での審査
&
契約ノウハウの蓄積・活用

※搭載できる自社の契約書ひな型などに制限はありません。

上位プランの機能・特長・価値

機能

自社ひな型・レビュー観点・修正ノウハウなど
自社独自の契約ノウハウを審査時にすぐに使える

特長

「**自社の観点で**」リスクを検知し、
「**自社のノウハウで**」条文を受け入れ検討、修正。

「誰でも」自社の契約ノウハウに基づいた契約審査が可能

ご提供価値

1. 法務担当者のさらなる工数削減
2. より安心できる審査結果

上位プランのユースケース

法務担当者のさらなる工数削減

- **レビュー工数を削減**

(例：1stレビューアーの契約審査結果が自社基準参照により一定水準をクリア、2ndの負荷を軽減)

- **繰り返し生じている対応工数を削減**

(例：取引相手からくる自社ひな型への指摘に対し、パターン化した対応方針をツールで常時再現)
(例：事業部から何度もくる類似の問い合わせをクラウドで共有し、誰でも同じ回答を可能に)

レビュー精度の向上

- **「自社の取引ルールに則った」契約リスクの適切なコントロール**

(例：誰も使わないチェックリスト／形骸化したマニュアルが、GVA assistで審査時に活用)

- **英文契約書レビューの負担を、自社ひな型の活用で軽減**

(例：探すこと自体手間がかかる自社の英文契約ひな型の条文も、GVA assistで審査時に活用)

自社基準への変更可能点

契約書レビュー

使い方 ヘルプ

自社にとってリスクとなる条文や、ひな型と比較して不足している条文を表示しています。条文タイトルの左にある★マークは、重要条文であることを示しています。

秘密保持契約書

GVA TECH株式会社（以下「甲」という。）とGVA法律事務所（以下「乙」という。）は、下記のとおり秘密保持契約（以下「本契約」という。）を締結する。

第1条（目的）

開示者は受領者に対して、甲が運営する契約審査補助ツール「AI-CON Pro」に関する協業の検討を目的（以下「本目的」という。）として、秘密情報を開示する。

第2条（秘密情報の定義）

1 本契約において秘密情報とは、開示者が有する営業上又は技術上の情報及び本目的遂行工程で「**知り得た情報**」をいう。
2 前項にかかわらず、以下の各号に該当する情報は秘密情報に含まれないものとする。ただし、「**情報**」についてはこの限りではない。
(1) 開示者から開示される以前から受領者が保有していたもの
(2) 受領者が正当な権限を有する第三者から、秘密保持義務を負わずに知得したものの
(3) 受領者が、開示者から開示された秘密情報によることなく、独自に開発したものの

第3条（秘密保持義務）

1 受領者は、開示者の事前の書面による承諾なく、秘密情報を第三者に開示または漏洩してはならない。
2 受領者は、次の各号のいずれかに該当する場合、開示者の承諾なく秘密情報を開示することができるものとする。

プレイバック 全体 不足条文 6 リスク単語/条文 3 不足単語 2

ひな型の条文

- 第1条（契約の目的） 不足条文
- 第2条（開示目的）
- ★第3条（秘密情報の定義） リスク単語 不足単語
- ★第4条（秘密保持義務） リスク単語 不足単語
- ★第5条（目的外使用の禁止）
- 第6条（個人情報の取扱い） 不足条文
- ★第7条（複製等） 不足条文
- ★第8条（解析の禁止）
- ★第9条（秘密情報の管理）

使い方 ヘルプ

< 戻る 類似度: 98/100

★第30条（損害賠償）

推奨条文 オプション条文(1) 解説

【チェックポイント】

- 主契約要件:
故意・重大失に限定されていないか確認してください（譲歩不可）
- 賠償範囲:
専門家費用や人件費、逸失利益まで含まれるようにしてください（譲歩の余地あり）
- 賠償範囲の限定:
「現実生じた直接かつ過剰の損害に限る」「●●を上限とする」「損害賠償請求は…から●●年後は不可」といった賠償範囲の限定があるか確認してください

【推奨条文】

委託者及び受託者は、本契約及び個別契約に関連して、**相手方の責めに帰すべき事由により自己に損害が生じたときは、相手方に対し、当該損害（紛争解決に要した弁護士費用及び人件費、第三者からの損害賠償請求、紛争解決のため第三者に対し任意に支払った金額並びに逸失利益を含む。）の賠償を請求することができるものとする。**

確認済み

★第30条（損害賠償）

推奨条文 オプション条文(1) 解説

【主契約要件】

- 対応地位
- ①重大失の限定なし（推奨条文）
- ②重大失に限定（指否すべき）

【賠償範囲】

- 対応地位
- ①専門家費用や人件費、逸失利益を含む（推奨条文）
- ②相当因果関係にある損害を賠償（受け入れ可能）
- ③損害賠償の上限設定（指否すべき）
- ④損害賠償範囲の制限（指否すべき）

※賠償範囲の限定

「現実生じた直接かつ過剰の損害に限る」「●●を上限とする」「損害賠償請求は…から●●年後は不可」

確認済み

- ・ 検知するリスク
 - ・ 比較参照するひな型
 - ・ 修正例／譲歩案／コメント
- として、自社の契約ノウハウを登録・活用

より早く、より正確に、
自社取引に即した審査を実現

プランの比較

機能	ライトプラン	エンタープライズプラン
Wordアドインでの利用	○	○
Webブラウザでの利用 (PDF利用可)	○	○
最新のひな型集	○	○
GVA プレイブックの解説/契約書ナレッジ	○	○
GVA TECH基準でのリスク検知	○	○
英文対応	○	○
条文ストック	○	○
自社の契約書ナレッジの管理/更新	-	○
自社契約書ナレッジの更新リクエスト	-	○
自社契約書ナレッジに基づくリスク検知	-	○
初期費用	10万円	ASK
月額利用料	3万円	ASK
初期発行アカウント	1アカウント	ASK
追加アカウント	1万円/アカウント~	ASK

ご興味をお持ちいただいた方へ

ご興味ご関心に応じて、以下よりお進みください。

どういう機能で、どう動くかちょっと
見てみたい



30分説明会にご参加ください。

オンライン説明会の日程を見る

現状の課題感を相談したり
競合の動きなど相談しながら検討したい



お気軽に**お問い合わせ**ください

問い合わせフォームへ

契約審査業務業務のスキルアップが
できれば充分



お役立ち資料をご覧ください

お役立ち資料をしてみる

検討において
具体的な見積もりが必要



フォームからご連絡ください

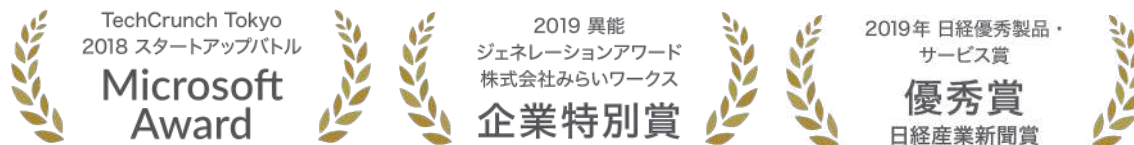
料金問い合わせフォームへ

GVA TECH株式会社 概要

GVA TECH

会社名	GVA TECH株式会社（ジーヴァテック）
代表取締役	山本 俊（弁護士）
設立	2017年1月4日
資本金	620百万円（資本準備金含む）
事業内容	GVAシリーズの開発・運営
従業員数	41名
所在地	東京都渋谷区千駄ヶ谷5丁目15-6 GVAフレンズ
Mission	「法律」と「すべての活動」の垣根をなくす

受賞歴(一例)



メディア掲載(一例)



主な株主

Salesforce ventures / DBJキャピタル 等

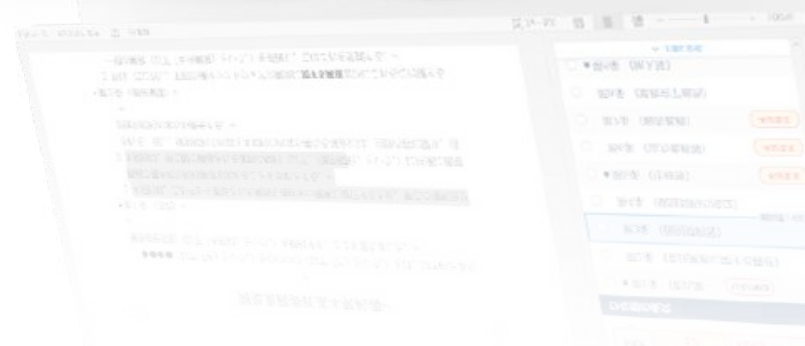
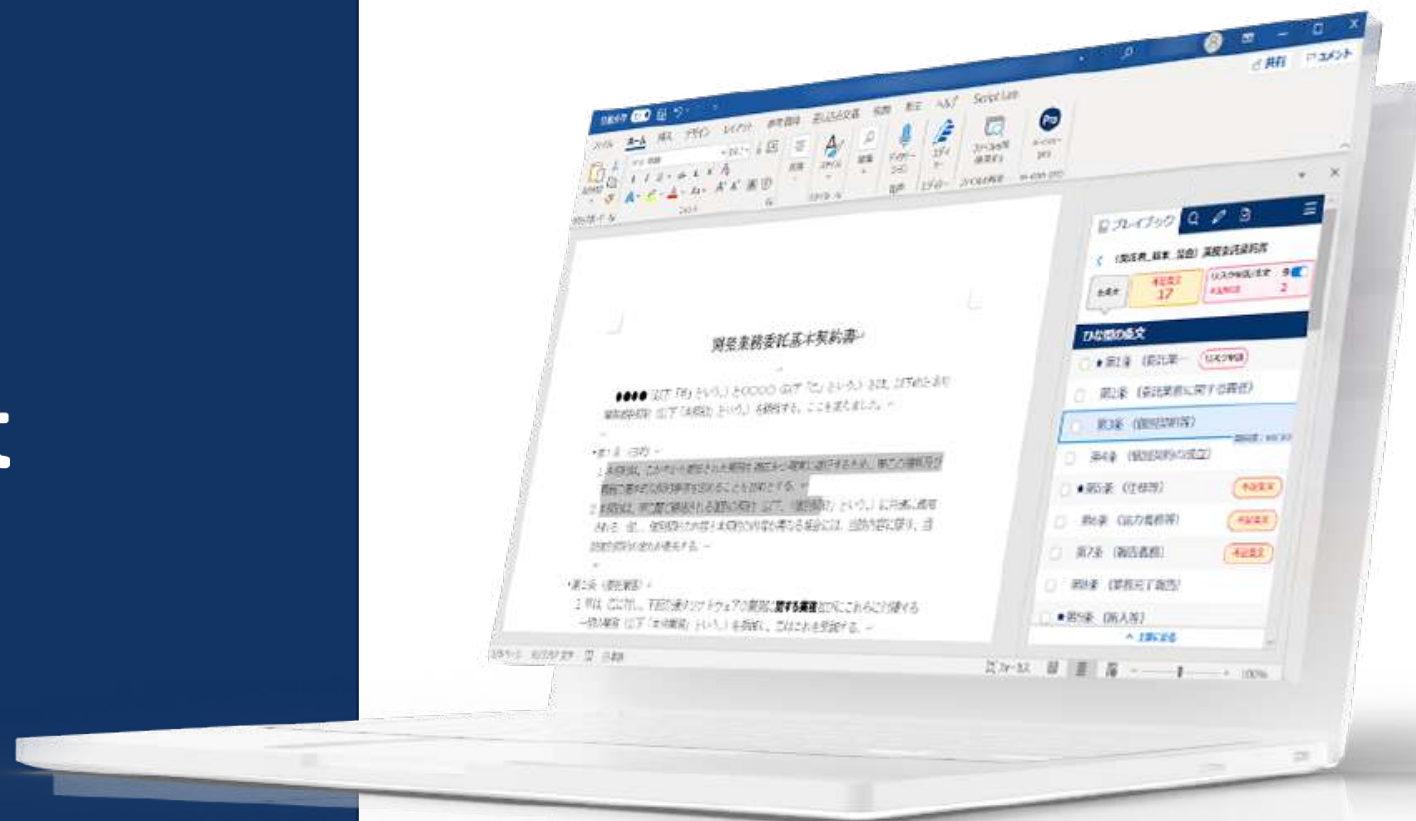
弊社は、**弁護士法人GVA法律事務所**（ジュリナビ 2021年全国法律事務所ランキング 49位）の代表弁護士を勤めている山本が、リーガルテックサービス開発・提供のために設立したスタートアップです。

「読む、直す、仕上げる」
契約審査をカンタンに

GVA assist

<https://ai-con-pro.com/>

GVA TECH株式会社
東京都渋谷区千駄ヶ谷5丁目15-6
GVAフレンズ



Appendix : AI契約書レビュー支援ツールの使い所

GVA assist が「作業」を、法務担当者は「判断」を。

人間が気づきづらい条項の抜け漏れや
契約書上のリスクをチェックし、
豊富な契約ノウハウに瞬時にアプローチ

人がやるべき固有条件の検討に注力し
精度の高い契約書レビューを効率的に行い
企業価値の向上にこれまで以上に貢献

